

2021年7月13日

朝日放送テレビ株式会社

〈報道関係のみなさま〉

**バーチャル高校野球 プロジェクト発表会を実施
「地方大会全試合」中継を目指しプロジェクト始動を宣言**

第103回全国高校野球選手権大会は、地方大会2,400試合以上を中継。新機能も搭載。

朝日放送テレビ・朝日新聞社・運動通信社

朝日放送テレビ株式会社(代表取締役社長:山本晋也)と、株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:中村史郎)は、7月12日(月)プロジェクト発表会を行い、株式会社運動通信社(代表取締役社長:黒飛功二朗)が運営するスポーツメディア「SPORTS BULL(スポーツブル)」内で展開する「バーチャル高校野球」(<https://vk.sportsbull.jp/koshien/>)で、全国高校野球選手権大会の地方大会全試合中継を目指した新たなプロジェクトを始動すると宣言しました。また、バーチャル高校野球の新機能「マルチビュー」「見逃し配信」「スーパープレイ動画」の搭載も発表しました。

本プロジェクトはKDDI株式会社(代表取締役社長:高橋誠、以下KDDI)の協力のもと、地方球場の通信ネットワークを整備することで、地方大会全試合の中継を目指すものです。2019年の第101回全国高校野球選手権大会(主催:朝日新聞社、日本高等学校野球連盟)では約900試合のライブ中継でしたが、本プロジェクト初年度となる、第103回全国高校野球選手権大会(主催:朝日新聞社、日本高等学校野球連盟)では、6月28日の南北海道大会函館支部予選(1回戦)を皮切りに、地方大会2,400試合以上を中継いたします。将来的には地方大会全試合中継(約3,600試合)を目指します。

バーチャル高校野球の新機能となる「マルチビュー」「見逃し配信」はともに、今年倍増したライブ中継数に対応した機能です。

【マルチビュー】

一度に最大5試合視聴が可能です。ユーザーが選択した試合がメインプレイヤーに表示され、その下の4つのサブプレイヤーには「決勝戦に近い試合」かつ「試合日時が現在時間に近い試合」という表示ロジックで中継試合が決定します。次に観たい試合を探すことができ、1日最大約250試合になることもある今夏のライブ中継を余すことなくお楽しみいただける機能です。

【見逃し配信】

今夏の熱戦を記念として映像で持っておきたい方や、ライブ中継を見逃してしまった方、球

場に行けなかつた方の試合を観たいというニーズに応えた機能です。1試合単位、大会パス（※）でのご購入が可能です（※許諾済みの地方大会の試合：約1,500試合）。

【スーパープレイ動画】

短尺の競技映像を大迫力の縦型動画でお楽しみいただける機能です。動画はスワイプ操作で簡単に切り替えて視聴することができ、通勤などの時間でも気軽に楽しめます。※スポーツブルアプリの「スーパープレイ動画」からご利用ください。

「バーチャル高校野球」は、コロナ禍においても安心して球児たちを応援できる環境を構築し、より多くのファンに高校野球を楽しんでもらうことで、競技・大会の普及発展を目指します。

◆記者会見の内容について

<日時> 7月12日（月）【第一部】13:00～13:30

<場所> 朝日新聞東京本社 読者ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社2F

<配信> <https://vk.sportsbull.jp/koshien/>

（SPORTS BULL 内バーチャル高校野球、見逃し配信あり）

<第一部・登壇者> 株式会社朝日新聞社 高野 健一 執行役員

朝日放送テレビ株式会社 今村 俊昭 取締役



バーチャル高校野球は、地方大会の全試合約3600試合の中継を目指す。通信面でKDDIなどの協力も得ながら、今第103回大会では、一昨年比1500試合増となる2400試合で中継を実施する。29大会では、全試合ライブ配信する。

配信試合数の増加に対応し、このたびマルチビュー、見逃し配信、スーパープレイ動画のサービスを始める。

バーチャル高校野球は、コロナ禍の高校球児を全力で応援する。安全に、誰もがいつでもどんな場所でも、球児を応援できる環境をつくっていく。

朝日新聞社

高野健一執行役員



今年は2年ぶりの選手権開催で、多くの熱戦、球児たちの思いを、全ての高校野球のファン、球児の家族、友人、学校関係者も届けられる。

昨年は戦後初の選手権大会の中止となつたが、バーチャル高校野球では1,000試合を超える独自大会の模様をライブ中継し、悔しい思いを胸に秘めた球児たちの頑張りを届けることができたと自負している。

さらに多くの試合を中継し、ファンとの架け橋となり、多くの希望を届けられる存在でありたいと願っている。

朝日放送テレビ

今村俊昭取締役



news release

◆「バーチャル高校野球」について

バーチャル高校野球は、高校野球を動画やニュースでいつでもどこでも楽しめるサービスとして、2015年に旧朝日放送株式会社(現朝日放送グループホールディングス)と朝日新聞社が共同で開始しました。全国高校野球選手権大会をはじめ、国民体育大会の特別競技である高校野球競技(硬式)や明治神宮野球大会などのライブ中継を中心にコンテンツを拡大しています。

◆「SPORTS BULL(スポーツブル)」について

「スポーツブル」は、スマートフォンアプリ、ウェブで無料でお楽しみ頂けるインターネットスポーツメディアです。

年間1万試合以上の学生スポーツ、アマチュアスポーツのライブ配信を中心に、さまざまな競技のニュース記事を1日約800本配信しています。また、スマートフォンアプリでは短尺のスーパープレイ動画を観られる機能や、気になる試合結果をリアルタイムに追いかけることができる速報機能に加え、完全オリジナルのスポーツ漫画の配信など、スポーツのコアファンからライトファンまで幅広いお客様にお楽しみ頂けるスポーツコンテンツを多数取り揃えています。今後もさまざまなコンテンツの拡充を行い、日本のスポーツ界全体の盛り上げを目指していきます。(2021年7月時点)

- ・サービス名:SPORTS BULL
- ・対応:iOS アプリ、Android アプリ、ブラウザー(PC／スマートフォン)
- ・サービス URL:<https://sportsbull.jp>
- ・App Store URL:<https://itunes.apple.com/jp/app/id1086719653>
- ・Google Play URL:<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.undotsushin&hl=ja>

◆「株式会社運動通信社」について

所在地:東京都港区西新橋 2-19-5 カザマビル 2 階

代表者:代表取締役社長 黒飛功二朗

事業内容:インターネットスポーツメディア「スポーツブル」の運営など

URL:<https://sportsbull.jp/about/company/>

2021年7月13日

朝日放送テレビ株式会社

（報道関係のみなさま）

バーチャル高校野球 プロジェクト発表会を実施

史上初「阪神甲子園球場での女子高校野球決勝戦」をライブ中継

第25回全国高等学校女子硬式野球選手権大会は、3回戦から決勝戦まで中継

朝日放送テレビ・朝日新聞社・運動通信社

朝日放送テレビ株式会社（代表取締役社長：山本晋也）と、株式会社朝日新聞社（代表取締役社長：中村史郎）は7月12日（月）プロジェクト発表会を行い、株式会社運動通信社（代表取締役社長：黒飛功二朗）が運営するスポーツメディア「SPORTS BULL（スポーツブル）」内で展開する「バーチャル高校野球」(<https://vk.sportsbull.jp/koshien/>)で、史上初めて阪神甲子園球場で開催する全国高等学校女子硬式野球選手権大会の決勝戦をライブ中継することを発表しました。

記念すべき決勝戦に加えて、第25回全国高等学校女子硬式野球選手権大会（主催：丹波市、全国高等学校女子硬式野球連盟、後援：朝日新聞社）の3回戦から準決勝までの計15試合を、KDDI株式会社（代表取締役社長：高橋誠、以下KDDI）の協力のもと、ライブ中継します。

プロジェクト発表会では、一般社団法人全日本女子野球連盟の山田博子会長が「女子高校野球が史上初めて阪神甲子園球場で決勝戦を開催すること」と「女子野球の魅力、将来性」について語りました。

また、タレントの武井壮さん、稻村亜美さん、片岡安祐美さんをゲストにお迎えしたトークセッションも開催されました。KDDI 繁田光平（パーソナル事業本部 サービス統括本部 副統括本部長）さん、運動通信社黒飛功二朗（代表取締役社長）さんも交えて、「オンライン配信により拡充される学生スポーツの楽しみ方」や「オンライン配信がもたらすアマチュアスポーツの将来像」などについて語り合いました。

「バーチャル高校野球」は、コロナ禍においても安心して球児たちを応援できる環境を構築し、女子高校野球を全力で応援していきます。

◆記者会見の内容について

< 日時 > 7月12日(月)【第二部】:14:00~15:00

< 場所 > 朝日新聞東京本社 読者ホール

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2 朝日新聞東京本社 2F

< 配信 > <https://vk.sportsbull.jp/koshien/>

(SPORTS BULL 内バーチャル高校野球、見逃し配信あり)

< 第二部・登壇者 >

株式会社朝日新聞社 高野 健一 執行役員

一般社団法人全日本女子野球連盟 山田 博子 会長

株式会社運動通信社 黒飛 功二朗 代表取締役社長

KDDI 株式会社 繁田 光平パーソナル事業本部 サービス統括本部 副統括本部長

< 第二部・ゲスト >

武井 壮

稻村 亜美

片岡 安祐美



女子高校野球も、男子と同じように青春を懸けて仲間と頂点を目指し、日々練習をしている。野球というスポーツを愛し、そこに全てをかける。それはみんな同じだ。

今回、女子高校野球選手権大会の決勝を甲子園でできることは、女子野球全体にとって大きな一步であり、大きな光。50年後には女子野球が当たり前の文化になり、その中で選手たちが思いきりプレーをする。その環境をつくるには今、責任ある私たちが取り組まなければならない。

一般社団法人全日本女子野球連盟

山田 博子 会長



(コロナ禍で)スポーツを生で見る機会はまだ完全には取り戻せていないが、これまで生でスポーツを観戦していた人の数をはるかに上回る人が獲得できるような、そういう仕組みがたくさん出来上がりつつある。

ライブ配信で見る人の数が増えれば、多くの人がスポーツで人生を豊かにことができると思っていて。地球上どこでも遊び尽くせるのがスポーツの魅力だと思っているので、今回の企画のように、スポーツの楽しみを伝えられる機会をどんどん増やしていくように頑張りたい。

武井 壮



片岡 安祐美

プレーする側として見てくれる人がいるのは幸せで、だからこそいつも以上の力を発揮できる。見る側も、初めて見たスポーツから感じるものはひととぞれたくさんあると思うので、バーチャル(高校野球)を通じて、日本全国、世界中に広まっていくっていうことは素晴らしいこと。

今年は選手権大会の決勝が甲子園で行われるが、私が野球を始めたのもテレビで見た甲子園に憧れたから。ぜひそこを目指して、全力プレーでやってほしい。



稻村 亜美

女子高校野球が甲子園でできることで、目指すべき一つのゴールができたと思う。私も中学まで9年間野球をやったが、甲子園は目指せなかった。

今の女子高校球児は、目指せるものがあるというのはとても幸せだと思うし、私たちにとっても希望になる。頑張り次第で、来年も再来年もと続くと思うので、精一杯頑張ってほしい。



スポーツそのものをどう楽しむか、ライトなファン層にも伝えていくべきだ。(SNSを見ていると)母校を応援する、地元を応援するという文脈でバーチャル高校野球を楽しんでいただいている。

観られる環境がヒーローが生まれる環境。1人でもネット配信で試合を見ていただける人が多くなること自体が、選手の皆さんにとってのパフォーマンス向上につながる(というデータもある)

様々な競技、様々な地方に眠っているヒーローを掘り起こすという意気込みで、試合を(映像配信を通じて)サポートさせていただきたい。

株式会社運動通信社
黒飛 功二朗 代表取締役社長



今この瞬間もある地方のどこかの僕らが知らない競技で感動的なシーンが生まれている。なんとかして形に残すことで(スポーツが)大きく進展していくと思う。

これから日本が5Gを進めていくにあたって、お客様のお手元に非常に映像が見やすい環境が整っていく。

今まで以上にストレスなく見ていただける環境こそがスポーツを見ていただくベストな世界に向かっていく。我々がコンテンツ化し、5Gの時代における象徴的な「スポーツを見る姿」を提示することが使命だと思う。

アマチュアスポーツ、スポーツ全体を盛り上げ、日本だけでなく世界を盛り上げていく。

KDDI株式会社
繁田 光平
パソコン事業本部
サービス統括本部 副統括本部長

◆「バーチャル高校野球」について

バーチャル高校野球は、高校野球を動画やニュースでいつでもどこでも楽しめるサービスとして、2015年に旧朝日放送株式会社(現朝日放送グループホールディングス)と朝日新聞社が共同で開始しました。全国高校野球選手権大会をはじめ、国民体育大会の特別競技である高校野球競技(硬式)や明治神宮野球大会などのライブ中継を中心にコンテンツを拡大しています。

◆「SPORTS BULL(スポーツブル)」について

「スポーツブル」は、スマートフォンアプリ、ウェブで無料でお楽しみ頂けるインターネットスポーツメディアです。

年間1万試合以上の学生スポーツ、アマチュアスポーツのライブ配信を中心に、さまざまな競技のニュース記事を1日約800本配信しています。また、スマートフォンアプリでは短尺のスーパープレイ動画を観られる機能や、気になる試合結果をリアルタイムに追いかけることができる速報機能に加え、完全オリジナルのスポーツ漫画の配信など、スポーツのコアファンからライトファンまで幅広いお客様にお楽しみ頂けるスポーツコンテンツを多数取り揃えています。今後もさまざまなコンテンツの拡充を行い、日本のスポーツ界全体の盛り上げを目指していきます。(2021年7月時点)

・サービス名:SPORTS BULL

・対応:iOS アプリ、Android アプリ、ブラウザー(PC／スマートフォン)



news release

- ・サービス URL:<https://sportsbull.jp>
- ・App Store URL:<https://itunes.apple.com/jp/app/id1086719653>
- ・Google Play URL:<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.undotsushin&hl=ja>

◆「株式会社運動通信社」について

所在地:東京都港区西新橋 2-19-5 カザマビル 2 階

代表者:代表取締役社長 黒飛功二朗

事業内容:インターネットスポーツメディア「スポーツブル」の運営など

URL:<https://sportsbull.jp/about/company/>